

番組制作ポイント (海部編)

2018.04.01

氏名

放送委員のモラル・著作権処理

1. 違法ダウンロード問題

違法な手段でネットから曲をダウンロードすることはできない。

このような手段でダウンロードした曲は、当然、放送で使用することはできない。

2. 昼の放送

基本的に何をかけてもかまわない。学校放送は限られた範囲の放送にあたり、著作権処理は必要ない。

しかし、違法ダウンロードは使用できないのでMP3プレーヤーから直接かけるときは注意すること。ただし、アニソン・キャラソンは一部の生徒しかわからないので基本的にはかけない。

3. 体育祭・球技大会での放送

基本的に何を使用してもかまわない。ただし違法ダウンロードは不可。

4. NHK 大会・アンデパンダン大会での使用

NHK・アーキーのサイト以外のネット音源は(使用可能と書いてあっても)すべて不可。

指定の著作権フリー音源を使用するのが、デフォルト。自作の曲もOK

一般のCDを使用する場合は、まずCD製造会社に使用許諾を得、次にJASRACに使用許可を得る。

(CDは5000円ぐらい、JASRACは有料)1カ月はかかるので、早めに決定を。

5. 総文祭での使用

著作権フリー音源を使用するのが、デフォルト。自作の曲もOK。

ネット音源も使用可能との表記があれば使用できる。

一般のCDを利用する場合は、NHK大会と同様の措置。

○番組制作について

1. NHK コンテスト

TVドキュメント・・・校内だけでなく郊外に目を向けよう。

ラジオドキュメント・・・ラジオならではの企画を考えよう

TV・ラジオドラマ・・・出演できるのは自校生徒のみ、パクリは絶対にだめ。

でも設定のパクリはありみたい

2. 総文祭

神奈川県の話。割とメジャーなものを選び、掘り下げる。

写真はネットからではなく必ず自分で撮ること

3. アンデパンダン

映像=テーマに沿って制作

放送劇=ラジオドラマ

SV=30秒のショートビデオ

ドキュメンタリ番組制作について

I. テーマ決め（ドキュメンタリ・ドラマ共通）（4か月前）

まず、今を生きる高校生がいつも気にしているテーマをリサーチします。

★テーマ決めで作品の成果は70%決まる

- ・高校生が疑問に思っていること（先生の不思議、・・・）
- ・何気なくいつもやっていること（バスの乗車、携帯、・・・）
- ・病気や障害について
- ・高校生では常識だが、大人は判らないこと（携帯いじめ・・・）
- ・身の回りの出来事
- ・社会現象
- ・「今」が大切（ジャーナル性）
- ・どんな取材先があるか、取材出来るかを想定
- ・「高校生だからうまく伝えられる」ものを選ぶ。
NHKの方がうまく番組にできるものは避ける。
- ・明日すぐにも役に立つ情報、新しい視点の入ったもの
→視聴者の視点が重要。「知りたい」＋「共感」の要素が含まれた内容がよい。
- ・人のためになるメッセージがある

★番組制作とは、まず面白い『テーマ』を探すことから始まる。

番組作りの発想を得るため新聞に目を通し、

何が、いま学校で、世の中で、何が問題になっているのか？を知る。

さて番組制作者はどのような観点を持っていないといけないのだろうか？

★テーマ決めの方法（ドキュメンタリ・ドラマ共通）

- ・部員一人ひとりが普段気になること、テーマにできそうな単語を3つ以上出してもらおう
- ・それを全部カードに書き出して、張り出す
- ・単語を三つ組み合わせるテーマにする

II. 企画会議の開催

☆どんな番組を作るか、映像を作るかを、カードを元に話しあう企画会議を行います。

その際、企画の提案者は、

★自分が本当に伝えたいこと。を明確にするよう心掛ける。

提案課題の設定は、番組制作の基本中の基本なのです。

番組の『テーマ探し』（取材する）題材を決めることから。

番組の『テーマ』が決まったら、それを提案書にまとめておく。

★観る人に『面白い』と思ってもらえること。

自分が興味を感じることで、そして、たぶん皆も興味があることが、最低条件となる。

更に、新しい(something new)「今感」がある、刺激がある、

個性的な人物が活躍している、共感できる、感動するといった要素が必要になってくる。

こんな要素が加わると、番組の魅力がぐっと増してくる。

みんなでアイデアを出し合い、見てもらえる素敵な番組を企画しよう。

Ⅲ. 大まかな流れの作成（3か月前）

- ・部員全体で（「〇〇は□□だ」など単純明快な）テーマを共有する。
- ・ドキュメンタリは制作者が、少しずつ謎を解明していく形がよい
- ・ドキュメンタリはナレーションも制作者が行うのが基本
- ・何を伝えたいのかを明確にする

Ⅳ. 調査やリサーチ（大会2か月前）

企画が決まったら、具体的に内容を固めるため情報を集めよう。インターネットや雑誌、新聞など様々な媒体を活用して、信憑性も確認しながら制作する内容を作ります。

☆取材

- ・アンケートを取るのもこの時期。アンケートも取材の一部
100人以上のアンケートは説得力のある情報となる
- ・ドラマでも取材してリアルさを出す
- ・室内での取材は許諾を取る
- ・小学生以下の子供は保護者の許諾を取る
- ・マイクは写らないようにする
- ・機材は予備の機械も持参してトラブルに対処する
- ・使う予定の10倍以上撮影する。外の景色や撮影入りの映像も取る
- ・音はボイレコで別に撮る。
- ・撮影の前に日時とシーン番号を撮影する

☆台本作成・キャスティング

集めた情報をもとに台本を作っていくわけです。

Ⅴ. 正確な流れの作成（大会6週間前）

- ・スクリプトを作成する。なるべくたくさんの人に見てもらう。
- ・耳で聞いて分かりやすい言葉を使う
- ・迷うところがあるなら2パターン撮影する
- ・キャストを決定する
- ・ナレーション原稿を考える

Ⅵ. 撮影する（大会4週間前までに終了するように計画を立てる）

☆リハーサル

撮影が円滑に進むよう、リハーサルをしっかりと行います。

台本をもとに読み合わせをしたり、カメラワークや照明の具合を調整したりと、質の高い番組を作るために細かいところまで、ここで配慮する必要があります。

リハーサル不足ではいざ本番という時にスムーズな進行が出来なくなる可能性があります。

☆撮影

流れの中で一番のメインとなる『撮影』が始まります。

本番となると、不安や緊張で出演者はもちろんスタッフも含め、無駄な力が入ってしまいがち。それは映像を観る人にも伝わってしまうものです。

また、そんな不安や緊張は、思わぬ失敗を招く事も考えられます。

程良い緊張感は大切ですが、力を入れ過ぎずリラックスして本番に臨むようにしよう。

- ・上から取ったり下から取ったりカメラの角度を変えるなど工夫して一つのシーンを取る。
- ・10倍の量取る
- ・ビデオカメラだけでなくデジカメやボイレコでも撮影する
- ・撮影の最初に日時とシーン番号を撮影する
- ・声はアフレコもありうるが、その場所の環境音（蝉の声、風の音）は必ず取っておくこと
- ・ドキュメントは普通のビデオカメラ、ドラマは1眼レフで撮影する
- ・止まった状態の撮影は三脚を立てる
- ・シーンごとの導入、展開、結論を意識して撮影すると次への興味がわく。

Ⅶ. 編集（大会三週間前）

☆オフライン

撮影した映像の必要な部分や不要な部分を、切ったり繋げたりする編集作業のことをオフラインと呼びます。決められた尺（放送時間）に収まるよう、まとめていきます。

☆編集・MA(Multi Audio)

オフラインで作成したデータをもとに、テロップやナレーションを入れるなどの編集を行っていきます。

雑音を消したり、効果音を入れたりする事を MA と呼びます。

こうして手を加える事で、見やすく分かりやすい番組に仕上がります。

- ・素材はすべて一つのフォルダにまとめる（USBでもよい）
- ・撮影したすべての素材をカットせずに並べる。（同じシーンが繰り返されてもいい）
- ・このラッシュフィルムをなるべく多くの人で見る
- ・撮影が足りない部分を追加撮影する
- ・このラッシュから編集する。（まだ時間は考えない）
- ・特殊効果、テロップ、トランジション・音楽は極力少なめに
- ・見る人が感じる間を作る
- ・いい画は長く、いいコメントは短く
- ・視聴者に合わせたテンポか
- ・わかりやすく疑問がわからない内容
- ・1番面白いシーンはラストに、2番目に面白いシーンは冒頭に持ってくる
- ・3分に1回は面白いシーンを入れる
- ・グラフや地図は極力入れない
- ・現場の音は大切に。

- ・無駄な音は極力省く。
- ・この段階で、時間オーバーの作品が出来上がる。(プロトタイプ) (大会 2 週間前)
- ・次にオーバーした時間からカットする部分を考え、カットする。
問題提起は1分程度。起承転結の「起」はコンパクトに
最初の 30 秒で引き付けておかないと見てもらえない
- ・完成した作品をみんなで見る (仮完成) (大会 1 週間前)
- ・題名は一言で示せるものを目指そう。
「～」などを使って副題をつけることが絞り切れていない証拠なので避けるべき。
- ・結論がわかってしまうようなタイトルはよくない。
例: 「舞装」「201」「1. 44 m²」「究極の登校」など・・・

☆ナレーションを入れる

アナウンスのうまい人よりは、制作担当者自身がベスト。

読みがうまいかどうかよりも現場を知っていることの方が大切

☆音楽や効果音を入れる

撮影時に、そこに流れている音をボイスレコーダーで必ず取っておく

効果音の音源は、あらかじめ自分のパソコンに入れておき、常に引き出せるようにすること。

曲はなるべくみんなの知らない曲を使う。

☆手直しして完成 (大会 3 日前)

- ・ラッシュ・編集作品・完成作品は取材対象者には公開前には絶対に見せない

VIII. 大会後

- ・取材相手に (プロトタイプ) を持って行って、取材のお礼を言う

最後に

企画は、

★「売りがある」「取材現場が明確」「なぜ今」の3つが掛っているか。

それは番組のタイトルとアバン (番組の冒頭 2 分くらいのセグメント) に象徴されます。

企画は、『ねらい』と『構成要素(映像イメージ)』の2本立てで書いていく。

そして『企画の極意』は番組タイトルと、コメントやナレーションの最初の3行で、

番組のイメージをきっちり伝えること。

構成要素は、

登場人物、カメラを置く場所、タイミングを明確に書くこと。

企画する核心には、好き、応援したい、疑問、怒りなどが込められていること。

企画が良くても、

★取材する段階で取材拒否に遭う。

★撮影のタイミングが合わない。

など、現実にはうまく運ばないことが、とても多いのです。

番組制作には、様々な障害を乗り越えるエネルギーも要求されるのです、

ドラマ制作のポイント

I. 企画

『君』が中心になって企画が誕生。

身の周りの流行・世相などを加味しながらテーマを絞ったり、
逆に主役の生徒を先決めして、そのイメージから物語を発想することもアリ。

II. 制作会議

第1稿の脚本をたたき台にして会議を聞き、具体的な制作プランを検討する。

出演者の確認やロケ地の選定、スケジュール調整などがスタートする。

これに前後して、より細かい設定で脚本を仕上げるために録音撮影現場に赴く。

『シナリオハンティング』なども行う。

☆スタイル決め

- ・日常を描く・真面目なものか・コミカル・SF・時代を超える・スリル・サスペンス
- ・「娯楽」とは「日常からの離脱」

☆キャラクター設定

- ・表に現れない事まで設定する。(プロフィール)
- ・家族構成、性格、血液型、誕生日、・・・(ペルソナ法)
- ・ドラマはあらすじを書く

III. 美術打ち合わせ

演出サイドのイメージをもとにロケ地とのマッチングも考慮しながら
美術セットなどをデザインする。衣裳、小道具などもここで決定。

IV. 顔合わせ

オールスタッフーオールキャストが一堂に会し、
番組の狙いや意気込みを伝え、お互いに人物紹介をして、
いよいよ撮影開始となります。

V. 本読み

リハーザルで出演者が顔を揃えて台本を読み合わせます。

この段階では椅子に座ったままで行う。

監督が『そこのセリフは、もう少し強く』など、シーンごとに演出意図を伝えていく。

VI. リハーサル

立ち稽古。簡単に椅子や机、畳等を、セットに見立てて、芝居を作っていく。

技術・美術スタッフも参加して、本番へ向けて様々な連携を図る。

ロケの場合は、『本読み』と『リハーサル』を兼ねて、現場で行ってしまう。

VII. カメラ割り・コンテ

リハーサルで決まった役者の動きを、
演出が、そのシーンの狙いをどのような画面で切り取ってくるか、細かい撮影プランを決定。
台本に書き込む。

VIII. ドライリハーサル

セットの中で、俳優の動きを全スタッフがカット割り台本を手に、
それぞれがその動きを確認する。
照明は、これ以前に仕込んで置く。
カメラはまだ使用しない。
この後、各セクションが細かい直しや打ち合わせをしてカメラリハーサルとなる。

IX. カメラリハーサル

本番同様のスタッフ配置をして、カメラを通してのリハーサル。
芝居とカメラ割りが合っていなかったり、照明やマイクなどの技術的チェック、
セリフの確認などがあると、その都度芝居を止めて調整する。

X. ランスルー

カメラハ後の微調整を終えて、すべての動きを本番同様に途切れなく行う。最後のテスト。
役者にとっては本番へ向けて演技のテンションを高める大切な時間なのだ。

XI. 本番

監督の『本番行きます』の声に合わせて撮影スタート！
タイムキーパーがセリフをチェックするなど、各部門が持ち場を確認しつつ、
芝居が進行していく。
数分の長いシーンから、1秒にも満たない短いカットもおろそかにできない。

XII. VTR チェック

モニターを囲んで、出演者・スタッフが今撮ったばかりの映像をプレビュー。
演技が思わしくなかったり、ノイズなど技術的な NG がある場合は再度撮影を行う。

XIII. 編集・MA

ロケやスタジオで撮影された VTR 素材をつなぎ、映像を組み立てる。
この作業で出来あがりのテンポや狙いの面白さをどう伝えるかが明確になって来る。
MA で効果音や BGM をミックスすれば一本のドラマが完成なのだ！

★部門ごとの注意

(テレビドキュメンタリ)

☆インタビューは情報だけを伝えるものではない。応じてくれる人の表情まで気を遣うべき。

☆相手に「はい」「いいえ」で答えさせない。

☆自分が知っていてもわざと知らないふりをする

☆相槌^{あいづち}はあえて声を出さずに、黙ってうなづく

☆話すときに上半身を揺らさない

☆相手にダメ出ししない。褒める。

(ラジオドキュメンタリ)

☆テーマ決め

- ・普段入っていけない所（トイレや更衣室など）にいける
- ・顔を出しては話すことができない内容を、聞くことができる
※万引きしたことがある・生理の悩みなど
- ・本音が出るまでじっくり相手と向き合う

(ラジオドラマ)

☆テーマ決め

- ・SF的な展開など様々なことが可能ではあるが、最終的には「友情」や「恋愛」など高校生が抱えている悩みや問題を主軸に据えた方がよい。
- ・聞いている人に想像させる音声に

(テレビドラマ)

☆設定

設定はパクっていい。(リーガルハイ、三谷幸喜)

☆テーマ

SFは極力避ける。リアリティが大切

☆撮影

- ・背景にも注意し、余計なものは極力写らないようにする
- ・写ったものはすべて意味があると、みている人は考える
- ・そのためには1眼レフカメラを使い、被写体以外はボケるようにする。

☆「ドラマ」出演のための演技練習

I. 基礎体力をつける

☆ジョギング、スイミング、エアロビクス、ジャズダンス、サイクリング、ウォーキング

II. インナーマッスルを鍛える体幹トレーニング・ストレッチ

「読み」編を参照

III. 操り人形体操

IV. 腹式呼吸と共鳴

腹筋・側筋を鍛える

V. 顔面体操

VI. カラスの声真似

VII. 声をぶつける

☆頭の上に長い板を乗せて、その板に声をぶつける

☆1 m先に的を決めて、そこに声をぶつける（3 m、5 m、7 m、8 m・・・）

☆思いっきり口げんか

VIII. 発声練習

IX. 発音練習

・ガアガアあひる、ガルルライオン、かーかーからす、メーメー子やぎ

・あひるの鳴き声、くあつ、くあつ、くあつ。

腰をひねらせ、くいつ、くいつ、くいつ。

子あひる寝てるよ、くうー、くうー、くうー。

突然起こされ、くえーつ、くえーつ、くえーつ。

お父さんあひるも、くおつ、くおつ、くおつ。

・ひよこはピョコピョコ、うさぎはピョンピョン。

ひよことうさぎがピョコピョコ、ピョンピョン、ピョンヤンで跳ねる。

・防備はどうだ爆発するぞ、ボブもビビアンもビバリーヒルズで僕の指令を待て。

ぼ、ぼくは部品を防御する。ばばーん！

X. 基本的な声質

スピーチ（普通の話し声）

ソブ（むせび泣き）

トゥワング（カントリーウエスタンで使われる声質。鬼太郎の目玉おやじ。）

ベルティング（歌う時に使う声質。声は張り上げるとき）

スクイーズ（喉を絞って出す声質。）

ファルセット（裏声。）

オペラ（重厚な役柄や劇画タッチの声）

X I. 演技練習

1. 「あ～あ、ヒマだなあ」を①赤ちゃん②メスブタ③大魔王④ルパン三世 の声で

2. 「お腹、ペコペコ」を①赤ちゃん②メスブタ③大魔王④ルパン三世 の声で

3. 「ふふふふふ、大成功」

を①火星の子供②にわとり③極悪非道の殺人者④こわれたコンピュータ の声で

4. 「ムッカつくう」を①コギャル②子猫③老人④ブラックジャック の声で

5. 「はあ～っ、眠いよ～っ」を①バカ殿様②牛③花の精④風邪をひいたオカマ の声で

6. 「なんか、せつない」

を①ませた幼稚園児②純朴な中学生③ブスなオカマ④色っぽい人妻 の声で

X II. イントネーション

1 「ワナ」を①疑問 ②断定 ③告知 で表現

2 「これ食べる」を①疑問 ②断定 ③念押し で表現

3 「どうして」を①あきれて②びっくりして③意外そうに④断定的に⑤ムツとして

⑥喜んで⑦じりじりして⑧訴えるように⑨チャカすように⑩こわごと

4 「かわいそう」

を①馬鹿にしたように②気の毒そうに③おかし気に④泣きながら⑤口先だけで⑥疑問

5 「好き」を①感激して②疑問③馬鹿にしたように④面倒くさそうに⑤とりあえずは

6 「なんか言ってよ」を次の性格で①ヒステリック②穏やか③引っ込み思案④イヤミ

7 「僕はもう行くよ」を次の性格で①ひねくれた②ぼんやりした③攻撃的④まじめ

8 「ちょっと話があるんだ」を次の性格で

①神経質②思いやりのある③思い込みの強い④なよなよした

9 「いいこと教えてあげる」を次の性格で①ひねくれた②ぼんやりした③攻撃的④まじめ

10 「仲直りしようか」を次の性格で①ヒステリック②穏やか③引っ込み思案④イヤミ

11 「わかった、もうオシマイにしよう」を次の性格で①いじわる②気弱③男っぽい④優しい

XIII. プロミネンス

1. 「夏休みになると 山へ キャンプに行きます。」
①いつ②どこへ③何を を強調して表現しましょう
2. 「彼は テスト前になるといつも お腹が痛くなります。」
①誰が②いつ③どうした を強調して表現しましょう
3. 「天気がいいので ランチは 外でしましょう。」
①なぜ②何を③どうした を強調して表現しましょう

XIV. ポーズ「、」で間を取ろう

- ①「君なら、必ずうまくいくと思うな」
「君なら必ず、うまくいくと思うな」
「君なら必ずうまくいくと、思うな」
- ②「僕は、そんなつもりでいったのではありません」
「僕はそんなつもりで、いったのではありません」
「僕はそんなつもりでいったのでは、ありません」
- ③「だから、見ない方がいいっていったじゃないの」
「だから見ない方がいいって、いったじゃないの」
「だから、見ない方がいいって、いったじゃないの」
- ④「私は、真っ赤な、トマトです」
「私は、真っ赤なトマトです」
「私は真っ赤な、トマトです」
- ⑤「こ～んなことになっちゃって」
「こ～んなことに、なっちゃって」
「こ～んな、ことに、なっちゃって」
- ⑥「わらわは、ステドロイド星の王であるぞ」
「わらわは、ステドロイド星の、おー、であるぞ」
「わらわはステドロイド星の王であるぞ」
- ⑦「なんでもない、なんでもない、なんでもないって」
「なんでもないなんでもないなんでもないって」
「なんでもないなんでもない、なんでもないって」
- ⑧「私は、決してウソは申しません」
「私は決して、ウソは申しません」
「私は決してウソは、申しません」
- ⑨「雨雨雨だ」
「雨雨、雨だ」
「雨、雨、雨だ」
- ⑩「いいの、ほんとにいいの」
「いいの、ほんとに、いいの」
「いいのほんとにいいの」

⑩「あいつも、ずいぶん、変わったよな」

「あいつも、ずいぶん変わったよな」

「あいつもずいぶん、変わったよな」

XV. 喜怒哀楽の表現

①喜ぶ

女「ヤッター、ホント？ ね、ね、ホントに宝くじ当たったの？ えっ？ 10万円？

いいじゃん、いいじゃん 上出来よ 10万円だ、10万円だあ バンザーイ！」

男「おい、ホントか？ ほ、ほ、ホントだな 俺の宝くじ、当たった？ 当たったんだよな？

10万？ 上等だよ、10万だろ、文句ないよ オイ、ホントだろうな」

②怒る

女「誰！ 私の机の上、こんなにグチャグチャにしたの！

いつも言っているでしょ、私の机の上は絶対に触らないでって！

聞いているの、ね、聞いているのって言ってんのよ 何とか言ったら！

どういふことか ちゃんと説明してよ！」

男「誰だよ！ オレの机の上、グチャグチャにしたのは！

何度言ったらわかんだよ、オレの机は絶対に触らなかって言ってるんだろ！

聞いてンのかよ、オイ、聞いてンのかって言ってんだよ 何とか言えよ！

どういふことか きっちり説明してみろ！」

③哀しむ

女「そう？ これっきり？ もう、ダメなのね

わかった 彼女と幸せにね いろいろありがとう 私、ずっと楽しかったから

うん、大丈夫、平気、平気だって 気にしないで 大丈夫だよ ミカと仲良く、ね

思い出、いっぱいありがと」

男「そう？ これっきりか？ うん、わかった 幸せにな いろいろありがとう

なんか、お前といるといつも楽しかったなあ うん、大丈夫だよ、オレは

気にしないでいって ミキオによろしくな 今まで、ありがと」

④楽しむ

女「ワーッ、ディズニーランドだあ！ スペースマウンテンでしょ、最初は 当然でしょ

えっ、シンデレラ城？ うん、行く行く ねえ、ここで並んでいてよ 私コーラ買ってくるから」

男「オーッ、ディズニーランドだあ！ スペースマウンテン、行くぞお 当然だよ最初は。

えっ、シンデレラ城？ うん、行く行くって おう、ここで並んでろよ 俺コーラ買ってくる」

XVI. ナレーション

《ナチュラルウォーター》

あなたの肌に必要なもの
それは「潤い」と「リラックス」
植物生まれの化粧水
『ナチュラルウォーター』
バード化粧品です

《麻婆豆腐》

昔、中国は四川省に住んでいた麻婆さん
彼女が考えたから麻婆豆腐
ウソのような、本当の、おいしいおいしいお話です
雷鳥フーズの中華コレクション
「麻婆豆腐」、新発売！

《ロードエイト》

見せかけの大人を脱ぎ捨てて、
自分を取り戻す時間
4リットルV8エンジン搭載で余裕の走り
新型プライベートサルーン
『ロードエイト』
もう一人の自分に会いに行こう

XVII. アフレコに挑戦

主な登場人物

みずほ 高校2年生。演劇部の副部長。可愛くて明るいクラスの人気者

アルー 映写能力を持つみずほのペットロボット。単純でデリカシーがないが、みずほのことが大好き

たけし 高校2年生。野球部のエース。みずほの幼馴染。みずほに頼まれて今回の演劇に参加

ほかに 部長、女子部員1、女子部員2

み「(切なそうに) 会っているときは、好きだ、好きだ、好きだって気持ちで、胸がいっぱいになる。

破裂してしまいそうで、私、胸が苦しい。

あなたに会えない時は、寂しい、寂しい、寂しいって気持ちで、心が痩せ細る。

胸が痛い。

ハートのとがった先が胸を突き刺していたい…。

こんなにもあなたのことを愛してしまって、あなたに愛されないかもしれないと思うと、

毎日が不安でたまらないの…」

み「(歯の浮くようなセリフにもう耐えられないと、みずほ吹きだす) ブハーッ」

み「ちょっとアルー、今のところ再生してちょうだい」

ア「わかった」

み「どーも、うまくいかないわねえ」

ア「みずほ、今の演技は62点、前より悪くなっている。もっと稽古が必要、もっと稽古が必要、もっと…」

み「(アルーにかぶせて怒り気味に)言われなくたってわかっているわよ」

み「だいたい相手がサエないから、私までつられちゃうんでしょ」

ア「それって私のこと？ それとも誰か他の…」

み「(アルーをさえぎって)もーゴチャゴチャ言ってないで、ほら、アルーもう一度最初から行くわよ」

ア「私が思うに、恋のお芝居するには、みずほは恋愛経験が少し足りない。

むしろ足りないというより、一度も無いって言った方がよい」

み「余計なお世話！

ハイッ、TAKE7 スタートッ！ 録画開始！」

み「こんなにもあなたのことを愛してしまってあなたに愛されてないかもしれないと思うと、私毎日が不安で不安でたまらないの…

『愛は寛大と献身』なんて嘘ね。愛ほど自分勝手にワガママなものはないわ。

惜しみなく愛は奪うものよ。教えて。

あなたが私のことを好きだっていう理由を。

あふれだす愛の言葉で、私の不安を吹き飛ばして。」

た「人を好きになるのに、理由なんていらないさ」

み「(相手のことを思い感情的に)私はたくさんの理由を抱えてる。

あなたのことを愛してる理由も、あなたと別れたくない理由も、たくさん、たくさん、…」

た「(なだめるように)ばかだなあ。理由が必要なのはわかれるときだけだって言ってるだろ。」

(みずほに顔を近づけるたけし)

た「(思わずキスをしてしまうぐらいくちびるを近づけて) ん～～」

み「えっ、なになに？ (みずほたけしを突き飛ばす)」

み「(怒りながらもあわてた様子で)なにすんのよーっ。

マジでキスしてどうすんのッ！

フリでいいのよ、フリでっ！」

た「いいじゃねーかよー。『惜しみなく愛は奪う』」

ア「そうくるか」

女子部員1「うそーっ、たけしくん、マジでみずほにキスしちゃった！」

女子部員2「信じらんない！」

み「(ひとり言のように)キスはしてないって・・・」

た「(へらへらした調子で)(部員のセリフにかぶせて)っていったろ？

幼馴染のよしみで協力してやってんだからキスのひとつぐらい…」

み「キスのひとつぐらいって…」

部長「はい、そこまで。みずほもたけしも、舞台上で痴話ゲンカしてる場合じゃないだろ」

み・た「痴話ゲンカって…」

み・た「フンっ！」

部長「我が演劇部の8年連続入賞と、3回目の最優秀賞獲得の夢は副部長のみずほにかかっているんだぞ」

部長「それからたけし」

た「(ギクッとして)うえっ…」

部長「にわか部員だからっていい加減な気持ちでやるなら、今すぐここから出てってもらうぞ…」

た「(ふてくされて)あーあ、なんでオレまで怒られなきゃならないんだよ」

み「なに言ってんのよ、部長が怒りだしたのはあんたのせいでしょ！」

た「へーそうですか」

み「だいたいねえ、最初に約束したでしょ。まじめにやるって」

た「真面目も真面目、おおまじめだよ。

『愛しているわん』

『でも不安なのよん』

『ばかだなあ』

『俺だって愛しているさ』

(バカにしたように)と、こう盛り上がってきたところで、真剣なキスをブチューっとひとつ…」

み「バカッ！何が真剣なキスよッ！」

た「えっ、なに？」

み「全然気持なんかこもってなかったじゃないのよッ！」

た「なーんだ、もしかしてみずほ、オレと熱烈なラブシーンがしくて舞台に誘ったってこと…」

み「(最大級の怒りで)もーっ、この大バカッ！」

ア「(あわてて)ケンカはダメ、ケンカはダメ！」

(みずほ、たけしの顔にパンチ)

ア「やめてください。やめてください。」

(つかみ合いの大げんかを始めるみずほとたけし)

ア「(淡々と)私は記憶している。二人が年長組だった頃のこと」

み「(あわてて)えっ、ちょっとアルー…」

ア「みずほのとおきの映像」

(土手に座る幼稚園時代のみずほとたけし)

た「みずほ、もう泣くなよ。ケン太のヤツはオレがやっつけてやったからさ」

み「だって、だって…。みずほ、もう少しでケン太くんにはチューされそうになったんだもん。

ママがね、『初めてのキスはお嫁さんになるって決めた人としなさい』って」

た「じゃオレ、みずほのことお嫁さんにするって決めたらキスするよ」

み「ホント？」

た「みずほが他のヤツにはチューされそうになったら、オレが必ず守ってやる！」

み「(楽しそうに)ホント！約束だよ！」

み「ぜーったい、約束だよ。みずほ、ずっと待ってる…」

(ビデオ終わる)

た「だっははははははーっ！まさかお前こんときの約束、ずっと覚えていたんじゃないよな」

み「そんなことないっ！そんな…(涙を浮かべて) そんな…(ひっく)」

た「(あせって)えっ…。みっ、みずほ…」

み「そうよ、ずっと覚えてた…

子供の時の約束を12年も信じて待ってるって、そんなに変なこと？

ずっと、ずーっとあの時の気持ちのままで待ってるって、そんなに、そんなに…おかしいかな…」

た「(弁解するように)おっ、おかしくない、おかしくなんかないよ。

俺だってあの時からずっと、みずほのこと大切にするって決めてたんだから」

み「た、たけし……」

(見つめ合いしっかり抱きあう二人。キスしようとしたところで、)

ア「素晴らしい出来。もう稽古のは必要ない。録画もできた。

(アルーを見つめる二人)

ア「あれっ？今のはお芝居ではなかったのか？」

み「(思わぬ展開にびっくりして)アルーのバカッ！」

(照れあう二人)

み「うふっ！」

ランプの夜

——学芸会のための一幕劇

新美南吉

人 姉

妹

旅人

法螺吹きの子

少年

所 森の近くの一軒家。姉妹に

あてがはれた小さい勉強室

時 春になつたばかりの風の夜

(机を向ひあはせて姉と妹が、一つのスタンドの光で勉強してゐる。机上には桜草の鉢がおいてある。)

(風の音)

妹 ひどい風ね。

(汽車の音)

妹 九時の上りかしら。

姉 さうぢやないわ、八時十分の下りよ。

妹 ああ、早くお父さん達帰つていらつしやらないかなあ。

(スタンド消える)

妹 あら、停電よ。

姉 電球がきれたんぢやないか知ら。

(スイッチをひねって見る)

妹 停電だわ。いやんなつちまふ。

姉 ちき点《つ》くからちつとしてらつしやい。

(間)

妹 つきやしないわ。風で電線が切れたのよ、きつと。

姉 さうか知ら。

妹 あら、何かあそこに光つてるわ青白く。

姉 どこ？

妹 ほら、窓の向かう。

姉 沼よ、あれは。月の光を反射してるのよ。いいなあ。すつてき。詩が出来さう。

妹 ちえつ。文学少女はこれだからいやだ。姉さん、お父さんのラムプつけませう。

姉 油まだあつたか知ら。

妹 きつとまだあるわ。

(姉、立って手探りで壁伝ひにゆく。退場。)

妹 (「春が来た」を口づさむ。)

(姉、ラムプを持って帰って来る。)

妹 ごくろう／＼。すぐわかった？

姉 椅子にあがつてもたらなかつたからテーブルの上にあがつちやつた。もうちよつとでお父さんの大事なユキ坊の写真を蹴とばしちまふとこだった [# 「だった」はママ]。内緒よ。

(その間にラムプをつける)

妹 こんな古ぼけたラムプ、いつもは何にもならないと思つてゐても、こんなときには間にあふわね。やつぱり昔のものはいい味があるわ。フランス製だつたけね。

姉 えさう。お父さんが始めての航海でマルセーユにいつたとき、その裏町の古道具屋で見つけたんですつて。ルキ十四世時代のものらしいつていつてらしたわ。

(間)

姉 いかもかうして、このラムプつけたつけね。

妹 うん、さうそ。あん時蛙が鳴いてたこと憶へてる。

姉 春の終り時分だつたのね。窓から蝶々がはいつて来てラムプのまはりとんだわ。

妹 えさう。ひらひらするもんだから、本が読めなくてわたし腹を立てたわ。そいで私が下敷で叩きおとしたら姉さんくやしがつたわね。

姉 何故あんなひどいことするのよ。あんたはああいふことがいけないのよ。バラの花だつて一ひら散るともう駄目だつてむしつてしまつたり、ラヂオでシヨパンをやつてると、いまから勉強するんだつて、プチンと切つてしまつたりするんですもの。

妹 姉さんはロマンチスト。わたしは現実家ね。わたしきつとお金ためるやうになるわ。

姉 何いつてんの馬鹿々々しい。あ、憶ひ出した。この前ラムプをつけるとき、まだユキ坊ちやんが生きてて、僕にマツチをすらしてくれつてせがんだわ。

妹 うん、さうだ。ユキ坊、あんとき尋常二年だつたわ。マツチをすることを覚えたばかりで、びくびくしながら端つこの方を持つてすつたつけ。

姉 はじめやりそくなつてマツチをすてたわね。机かけの上に落ちて少しこげたけどあのあとまだあるか知ら。(探す)これ違ふか知ら。

妹 それよ、きつと。もう二年にもなるのね、ユキ坊が死んぢまつてから。はやいもんだなあ。

姉 あ、それから、ほら、みんなであれをしたぢやないの。

妹 何? あれつて。

姉 ほら、影絵。影絵を壁にうつしたぢやないの。

妹 うん、さうそ。

姉 もう一ぺんやつて見ようか知ら。もう出来ないか知ら。(手をくみあはせて見る)ちよつとその紙で三角の帽子を折つて、のせて頂だい。(妹さうする)ああ、これでいいわ。どつかの、さびしい広野を一人でゆく旅人。

旅人よ、旅人よ

路を急げと

海べをくれば波の音

野末をゆけば蟬の声……

妹 わたしはあんとき泥棒をうまくつくつたわね。

姉 さう。でも、ちつとも悪いことの出来さうもない泥棒だつたわ。手ばかり嫌に大きくつて。

妹 そんなことないわ。凄味《すごみ》があつたわ。もう出来ないか知ら。(やつて見る)ほら出来た。うまくうつつたでしよ。

姉 何だか鶏を見てびつくりするやうな泥棒ぢやないの。ユキ坊ちゃんも何かしたわね。

妹 うん。ユキ坊はいくら指でやつても指がちつちやくてちつとも出来ないもんだから、童話の本の絵を切りぬいて来てうつしたわ。あれが一番上出来だつたわ。

姉 さうさう。『家なき児』の絵をね。家なき児のルミーは、お犬やお猿をつれて、肩には豎琴をしょつて、お母さんを探して旅してゐます、なんて上手に説明したわね。

(呼鈴がなる)

妹 あら、誰かいらしたわ。

姉 今時分誰か知ら。

(ランプを持つて退場。すぐ旅人をともなつて登場)

(妹、じろじろ旅人を見る)

妹 どなた、姉さん。

姉 あたし、知らないのよ。

旅人 旅のものです。道にまよつてゐたんです。ちようどそこの沼の向かうまで来ましたらこちらに小さい灯が見えましたからやつて参りました。わたしはこんなランプの灯が好きなのです。ランプを見るととても懐しいのです。少し休ませて下さい。(姉、壁ぎはから椅子を持つてきてかけさせる)

妹 あなたの帽子、をかしいのね。三角の帽子ね。どつかで見たことがあるやうな気がするわ。

旅人 あ、さういへば私もどうやらあなた方をどこかで見たことがあります。(ぐるぐる部屋を見まはして)どこかぢやない、ここの部屋です。あ、わたしは以前に、一ぺんこの部屋に来たことがあります。さう五六年も前の晩……

妹 変なことをいふ人ね。

姉 あなたはそれで、お家はどこ？

旅人 うち【#「うち」に傍点】はありません。私はいつでも旅をしてゐるのです。

妹 ぢや一人ぼつちね。

旅人 え、さうです。でもどこにでも私のお友達はゐます。お母さんをなくした子や、病気の子や夢を見ることの好きな子供が私のお友達です。さういふ子は寂しいもんだからよく、一人で、壁や塀に影絵をうつします。私はそんなときそこへいつてその子供達を慰めてやります。

姉 ぢや、あなたは何処の国へでもゆくのですか。

旅人 さうです。ロシヤへも、ハンガリイへも、デンマークへも、ドイツへも、フランスへも、アラビヤへもゆきました。またこれからいくんです。どこの国にも、かはいさうな子供や、空想の好きな子供はゐます。そしてどこの国にも壁や塀はあるのです。私の友達はほんたうに沢山です。

姉 でも、あなたは悲しい顔色をしてゐますね。

旅人 私はあまり沢山のものを見ました。あまり沢山の事を知つてゐるのです。あまり沢山の事を知ると、人は悲しくなるものです。

姉 疲れてゐるんでせう。

旅人 疲れてゐます。

姉 ここでゆつくりしていらつしやい。今にお母さんが帰つていらつしやいますから、そしたらお茶をさしあげます。

旅人 え、でも、私はゆつくり出来ないのです。私はゆかねばなりません。

妹 何故そんなに急いでゆくの。

旅人 何故か知りません。私の心がゆかねばならないと云ふのです。

姉 何か探していらつしやるの。

旅人 え、さうです。

妹 何を？ カナリヤか何か逃したの。

旅人 いいえ。そんなんぢやありません。何だか私自身にもよくわかりません。

妹 自分にわからないものを探してゐるなんて妙ね。

旅人 え、さうです。でもそれが我々の運命です。

妹 我々つて？

旅人 私や、あなた方のことです。すべての人間のことです。

妹 あら私達までも。

旅人 さうだと思ひます。

妹 違ふわよ、わたし達はちやんと家があつて、ここにあるぢやないの。

旅人 さうでせうか。

妹 さうよ。

旅人 さうでせうか。

妹 いやな人ね。そんな眼であたしを見ないで頂だい。

旅人 ぢやごめんなさい。私はもう行かなきやなりません。

(立上る)

姉 どうぞお大事に。またこんど来て下さい。

旅人 え、また来ます。こんどあなた方がラムプをつけたときに。

(姉、旅人を送り出す。)

(窓からひよいと大きい手袋をかけた泥棒がはいつて来る)

妹 ああ、びっくりした。誰なの、あんたは。

泥棒 泥棒です。

妹 あら、いやだ、自分で泥棒ですなんて。泥棒にしても随分、間ぬけな泥棒ね。

泥棒 そんなことはない。

姉 あら、そんなことはないなんて。

妹 そんなぶざまな恰好で泥棒が出来るもんですか。大きな軍用手袋なんかして。第一あんたの顔は泥棒にしちや無邪気すぎますよ。泥棒するんならひげのすごいのをつけてなきや人がおそれないわ。

泥棒 おや、ついてませんか。

姉 何もありませんわ。

泥棒 ちえつ、また落しちやつた。しまつたあ。あれ三銭で買ったのに。

妹 つけひげなの？

泥棒 さう、すごいのです。かういふ風になつてゐるんです。(と八の字を鼻の下にかく) 山賊ひげつて奴です。あ、あそこに落ちてる。(窓のところへいつて拾ふ) どうだ、凄いだろ。

妹 御愛嬌もんよ。

泥棒 お金を百円出せ。

妹 ないわ。ちつとも恐くなんかないわ。

泥棒 そいちや九十円出せ。

妹 ないわ。

泥棒 そいちや五十円出せ。

妹 ないわ。

泥棒 そいちや十円出せ。

妹 ないわ。

泥棒 そいちや一円出せ。

妹 ないわ。

泥棒 そいちや十銭出せ。

妹 ないわ。

泥棒 そいちや一銭出せ。

妹 ないわ。

泥棒 そいちやゼロを出せ。

妹 はい、どうぞ。(と指で輪をつくつて出す)

泥棒 (受けとるまねして、ポケットに入れ) 少ないけれど、こんばんのところはこれで我慢してやらう。

姉 をかしい泥棒ね。

妹 間ぬけ泥棒よ。

泥棒 そんなことはない。手下が百人あるのだから。

妹 へえエ、あなたに手下が百人？

姉 どんな人？

泥棒 石川五右エ門。
妹 そいから？
泥棒 兎小僧次郎吉。
妹 そいから？
泥棒 アルセーヌ・ルパン。ロビンフツド。
妹 そいから？
泥棒 Gメン、アルカポネ、キングコング、のらくろ伍長、江戸ツ子健ちやん、すゝめフクちやん、まだいろいろある。
姉 凄いのね。
泥棒 驚いたらう。そいからピストルだつて持つてゐる。見せようか。
妹 ええ。
泥棒 これだ。(玩具のテツパウをとり出して見せる)
妹 これ玩具ぢやないの。これでうつたことあるの？
泥棒 まだない。ロンドン銀行を襲ふときうつつもりだから。
妹 法螺吹きね、あなたは。
姉 かなしき旅の法螺吹きよ。
泥棒 ぢや、あばよ。また来るよ。(ぷいと窓から出てゆく)
妹 今晩はいろいろな人が来るわね。あの人も、いつか見たことがある様なきがするわ。
姉 さうね。おや、静かにして。
妹 なに？
姉 ドアの向うで咳をしたわ。
妹 誰が。
姉 子供のやうだつたわ。(行つてドアをあける。堅琴をかついで少年がはいつて来る)
妹 あら可愛いいわね。こんどの訪問者は。
少年 (咳をする) コンコン。
姉 こつちいいらつしやい。風邪ひいてるの？
少年 ええ。
姉 寒いから、この火のそばへいらつしやい。
(少年そばにゆく。)
妹 立つてゐないで腰かけなさいよ。
(少年腰かける)
姉 肩にかけてるものおろしなさい。(おろしてやる) これ何なの？
少年 堅琴です。(手袋をぬいで机の上におく)
姉 珍しいものね。わたし始めて見た。
少年 (きよろきよろ見てゐて) あの子がゐない。
姉 あの子つて、誰？
少年 あの子。僕名前知らない。
妹 ユキ坊のことを云つてゐるのか知ら。
姉 さうかも知れないわ。(少年に) わたし達の弟のことなの？

少年 ええ。

姉 ユキ坊ちゃんは死んでしまったのよ。

少年 死んだの？

姉 ええ。もう二年前のことよ。

少年 どこへ行ったの？

姉 死んちやつたのよ。

少年 そいでどこへ行ったの？

妹 死ぬつてことを知らないんだわ。

姉 さうね。(少年に) 死ぬつてね、もうどこにもあなくなつてしまふことなの。紙を火に入れると燃えるでせう。そして何もなくなつてしまふでせう。あれと同じなの。でもそれから先どうなるかわたし達にもよくわからないわ。

少年 ちや、もうどつこにもあないの？

姉 ええ、

少年 隠れん坊で、どつかへ隠れて、いつまでたつても出て来ないのと同じなの？

姉 さう、いつまでたつても。

少年 つまんないなあ。僕遊ぼうと思つて来たのに。堅琴をひいたり、犬のカピーや猿の話をしてあげようと思つて来たのに。そいからフランスの田舎を旅した話なんかもどつさりあるんだけど。

姉 わたし達にきかして頂だい。

少年 でも、あの子があなきや、つまんないなあ。

妹 そんな悲しい顔をしちやいやだわ。わたし達まで悲しくなるわ。

少年 あの子といつしよに、凧をあげたり、土堤《どて》のつくしをとつたりしようと思つて来たんだけどつまんないなあ。

姉妹 ……………

少年 ぶらんこにもものつて遊ぼうと思つて来たんだけど。

妹 ユキ坊がよくのつたブランコ、まだ裏庭にそのまゝになつてるわ。

少年 松林からひばりがあがったら、一緒にひばりの歌をうたはうと思つたのになあ。

姉 ほんとに、もう春ね。もう春になつてるんだわ。こんやはまるで冬みたいに寒いけど。

少年 コンコン。僕もういかう。(立ちあがる)

姉 こんな風の中に出てゆかないで、こんやは泊つていらつしやい。

少年 でも僕、フランスにゆくんだから、ゆつくりしてゐられないや。

妹 うちのお父さんの船にのせてつて貰へばいいぢやないの。家のお父さんはベルテ丸の船長よ。

少年 でも僕もう行かなきやならない。

妹 どうして？

少年 もうぢき電燈がつくもん。

妹 電燈がつけば明るくなつていいぢやないの。

(電燈つく)

あつ、ついた。ああまばゆい。

少年 さあゆかう(堅琴を肩にする)

姉 ほんたうにもうゆくの？

少年 え、さよなら。

姉 またいらつしやいね。

少年 いいえ、もう来ません。

姉 どうして？ さつきの旅人だつて、泥棒だつて、また来るつて言つたわ。

少年 でも、僕はもう来ません。

姉 どうしてそんな悲しいこといふの。

少年 でも、あの子がもうゐないもん。

姉 ユキ坊ちやんが？

少年 ええ。

(姉妹かなしさうにしばらく少年を見てゐる)

姉 この花、あげるから持つていらつしやい。

(桜草をきつて、胸のポケットにつけてやる)

少年 ありがたう。コンコンコン。

姉 体に気をつけてね。

(姉ドアをあけてやる。少年出てゆく。姉しばらくドアの外を見てゐる。やがてしめて帰つて来る。腰かける) いつちまつたわ。

(間)

姉 風が凧いだのね。

姉 ええ。わたし耳が変だわ。まだあの子の咳が聞えるやうな気がするわ。

姉 わたしにも聞えるのよ。小さい咳。コンコンで。

(間)

姉 あつ、あの子、手袋忘れてつた。

姉 あら、ほんと。追つかけていつたらまだ間にあふわ。

(立ちあがる)

姉 おや、これ、見覚えがあるわ。ユキ坊の手袋よ、たしか。

姉 さうね。ユキ坊ちやんのだわ。ここにユキタと糸でぬひとりしてあるわ。これわたしがしてやつたのよ。

姉 ユキ坊の手袋……

(間)

姉 (腰かける) わかつたわ。

姉 あたしにも。

姉 影絵だつたのね。

姉 さう。一番はじめの旅人が姉さんのつくつた影絵。次の泥棒がわたしのつくつたの。そして今の子はユキ坊の「家なき児」だつたのよ。あたし達、幻を見てゐただわ。

姉 さうね。

(自動車の警笛)

姉 おや、お父さん達が帰つていらした。

(二人立ちあがる) 幕

—

おの こまち きちよう そうし
小野の小町、几帳の陰に草紙を読んでいる。そこへ突然黄泉の使が現れる。黄泉の使は色の黒い若者。しかも耳は兔の耳である。

小町（驚きながら）誰です、あなたは？

使 黄泉の使です。

小町 黄泉の使！ ではもうわたしは死ぬのですか？ もうこの世にはいられないのですか？ まあ、少し待って下さい。わたしはまだ二十一です。まだ美しい盛りなのです。どうか命は助けて下さい。

使 いけません。わたしは一天万乗の君でも容赦しない使なのです。

小町 あなたは情を知らないのですか？ わたしが今死んで御覧なさい。深草の少将はどうするでしょう？ わたしは少将と約束しました。天に在っては比翼の鳥、地に在っては連理の枝、——ああ、あの約束を思うだけでも、わたしの胸は張り裂けるようです。少将はわたしの死んだことを聞けば、きっと歎き死に死んでしまうでしょう。

使（つまらなそうに）歎き死が出来れば仕合せです。とにかく一度は恋されたのですから、……しかしそんなことはどうでもよろしい。さあ地獄へお伴しましょう。

小町 いけません。いけません。あなたはまだ知らないのですか？ わたしはただの体ではありません。もう少将の胤を宿しているのです。わたしが今死ぬとすれば、子供も、——可愛いわたしの子供も一しょに死ななければなりません。（泣きながら）あなたはそれでも好いと云うのですか？ 闇から闇へ子供をやっても、かまわないと云うのですか？

使（ひるみながら）それはお子さんにはお気の毒です。しかし閻魔王の命令ですから、どうか一しょに来て下さい。何、地獄も考えるほど、悪いところではありません。昔から名高い美人や才子はたいてい地獄へ行っています。

小町 あなたは鬼です。羅刹です。わたしが死ねば少将も死にます。少将の胤の子供も死にます。三人ともみんな死んでしまいます。いえ、そればかりではありません。年とったわたしの父や母もきつと一しょに死んでしまいます。（一層泣き声を立てながら）わたしは黄泉の使でも、もう少し優しいと思っていました。

使（迷惑そうに）わたしはお助け申したいのですが、……

小町（生き返ったように顔を上げながら）ではどうか助けて下さい。五年でも十年でもかまいません。どうかわたしの寿命を延ばして下さい。たった五年、たった十年、——子供さえ成人すれば好

いのです。それでもいけないと云うのですか？

使 さあ、年限はかまわないのですが、——しかしあなたをつれて行かなければ代りが一人入るのです。あなたと同じ年頃の、……

小町（興奮しながら）では誰でもつれて行って下さい。わたしの召使いの女の中にも、同じ年の女は二三人います。阿漕でも小松でもかまいません。あなたの気に入ったのをつれて行って下さい。

使 いや、名前もあなたのように小町と云わなければいけないのです。

小町 小町！ 誰か小町と云う人はいなかったかしら。ああ、います。います。（発作的に笑い出しながら）玉造の小町と云う人がいます。あの人を代りにつれて行って下さい。

使 年もあなたと同じくらいですか？

小町 ええ、ちょうど同じくらいです。ただ綺麗ではありませんが、——器量などはどうでもかまわないのでしょうか？

使（愛想よく）悪い方が好いのです。同情しずすみすから。

小町（生き生きと）ではあの人に行って貰って下さい。あの人はこの世にいるよりも、地獄に住みたいと云っています。誰も逢う人がいないものですから。

使 よろしい。その人をつれて行きましょう。ではお子さんを大事にして下さい。（得々と）黄泉の使も情だけは心得ているつもりなのです。

使、突然また消え失せる。

小町 ああ、やっと助かった！ これも日頃信心する神や仏のお計らいであろう。（手を合せる）八百万の神々、十方の諸菩薩、どうかこの嘘の剥げませぬように。

二

黄泉の使、玉造の小町を背負いながら、闇穴道を歩いて来る。

小町（金切声を出しながら）どこへ行くのです？ どこへ行くのです？

使 地獄へ行くのです。

小町 地獄へ！ そんなはずはありません。現に昨日安倍の晴明も寿命は八十六と云っていました。

使 それは陰陽師の嘘でしょう。

小町 いいえ、嘘ではありません。安倍の晴明の云うことは何でもちゃんと当るのです。あなたこそ嘘をついているのでしょうか。そら、返事に困っているではありませんか？

使（独白）どうもおれは正直すぎるようだ。

小町 まだ強情を張るつもりなのですか？ さあ、正直に白状しておしまいなさい。

使 実はあなたにはお気の毒ですが、……

小町 そんなことだろうと思っていました。「お気の毒ですが、」どうしたのです？

使 あなたは小野の小町の代りに地獄へ墮ちることになったのです。

小町 小野の小町の代りに！ それはまた一体どうしたんです？

使 あの方は今身持ちだそうです。深草の少将の胤とかを、……

小町（憤然と）それをほんとうだと思ったのですか？ 嘘ですよ。あなた！ 少将は今でもあの人

のところへ百夜通いをしているくらいですもの。少将の胤を宿すのはおろか、逢ったことさえ一度も
ありはしません。嘘も、嘘も、真赤な嘘ですよ！

使 真赤な嘘？ そんなことはまさかないでしょう。

小町 では誰にでも聞いて御覧なさい。深草の少将の百夜通いと云えば、下司の子供でも知って
いるはず。それをあなたは嘘とも思わずに、……あの人の代りにわたしの命を、……ひどい。
ひどい。ひどい。(泣き始める)

使 泣いてはいけません。泣くことは何もありませんよ。(背中から玉造の小町を下す)あなたは
始終この世よりも、地獄に住みたがっていたでしょう。して見ればわたしの欺されたのは、反って仕
合せではありませんか？

小町 (唾みつきそうに)誰がそんなことを云ったのです？

使 (怯ず怯ず)やっぱりさっき小野の小町が、……

小町 まあ、何と云う図々しい人だ！ 嘘つき！ 九尾の狐！ 男たらし！ 騙り！ 尼天狗！
おひきずり！ もうもうもう、今度顔を合せたが最後、きっと喉笛に唾みついてやるから。口惜しい。
口惜しい。口惜しい。(黄泉の使をこづきまわす)

使 まあ、待って下さい。わたしは何も知らなかったのですから、——まあ、この手をゆるめて下さ
い。

小町 一体あなたが莫迦ではありませんか？ そんな嘘を真に受けるとは、……

使 しかし誰でも真に受けますよ。……あなたは何か小野の小町に恨まれることでもあるのです
か？

小町 (妙に微笑する)あるような、ないような、……まあ、あるのかも知れません。

使 するとその恨まれることと云うのは？

小町 (軽蔑するように)お互に女ではありませんか？

使 なるほど、美しい同士でしたっけ。

小町 あら、お世辞などはおよしなさい。

使 お世辞ではありませんよ。ほんとうに美しいと思っているのです。いや、口には云われないくら
い美しいと思っているのです。

小町 まあ、あんな嬉しがらせばかり！ あなたこそ黄泉には似合わない、美しいかたではあり
ませんか？

使 こんな色の黒い男がですか？

小町 黒い方が立派ですよ。男らしい気がしますもの。

使 しかしこの耳は気味が悪いでしょう。

小町 あら、可愛いではありませんか？ ちよいとわたしに触らせて下さい。わたしは兎が大好き
なのですから。(使の兎の耳を玩弄にする)もっとこっちへいらっしやい。何だかわたしはあなたのた
めなら、死んでも好いような気がしますよ。

使 (小町を抱きながら)ほんとうですか？

小町 (半ば眼を閉じたまま)ほんとうならば？

使 こうするのです。(接吻しようとする)

小町 (突きのける)いけません。

使 では、……では嘘なのですか？

小町 いいえ、嘘ではありません。ただあなたが本気かどうか、それさえわかれば好いのです。

使 では何でも云いつけて下さい。あなたの欲しいものは何ですか？ 火鼠の裘ひねずみかわごろもですか、蓬菜ほうらいの玉の枝ですか、それとも燕つばめの子安貝こやすがいですか？

小町 まあ、お待ちなさい。わたしのお願はこれだけです。——どうかわたしを生かして下さい。その代りに小野の小町を、——あの憎らしい小野の小町を、わたしの代りにつれて行って下さい。

使 そんなことだけで好いのですか？ よろしい。あなたの云う通りにします。

小町 きっとですね？ まあ、嬉しい。きっとならば、……(使を引き寄せる)

使 ああ、わたしこそ死んでしまいそうです。

三

大勢おおぜいの神将しんしょう、あるいは戟ほこを執り、あるいは剣けんを提げ、小野おのの小町こまちの屋根まもを護っている。そこへ黄泉よみの使そうろう、蹠跟そくこんと空へ現れる。

神将 誰だ、貴様は？

使 わたしは黄泉の使です。どうかそこを通して下さい。

神将 通すことはならぬ。

使 わたしは小町をつれに来たのです。

神将 小町を渡すことはなおさらならぬ。

使 なおさらならぬ？ あなたがたは一体何ものですか？

神将 我々は天あめが下したの陰陽師おんみょうじ、安倍あべの晴明せいめいの加持かじにより、小町こまちを守護する三十番さんじゅうばんじん神じゃ。

使 三十番神！ あなたがたはあの嘘つきを、——あの男たらしを守護するのですか？

神将 黙れ！ か弱い女をいじめるばかりか、悪名あくみょうを着せるとは怪けしからぬやつじゃ。

使 何が悪名ですか？ 小町はほんとうに、嘘つきの男たらしではありませんか？

神将 まだ云うな。よしよし、云うならば云って見ろ。その耳みみを二つとも削いでしまうぞ。

使 しかし小町は現にわたしを……

神将 (憤然ふんぜんと)この戟ほこを食らって往生おうじょうしろ！ (使に飛びかかる)

使 助けてくれえ！ (消え失せる)

四

数十年ご後、老いたる女乞食こじき二人、枯芒かれすすきの原に話している。一人は小野の小町、他の一人は玉造たまづくりの小町。

小野の小町 苦しい日ばかり続きますね。

玉造の小町 こんな苦しい思いをするより、死んだ方がましかも知れません。

小野の小町 (独り語ごとのように)あの時に死ねば好よかったのです。黄泉よみの使よみに会った時に、……

玉造の小町 おや、あなたもお会いになったのですか？

小野の小町 (疑深うたがひそうに)あなたもと仰有おっしゃるのは？ あなたこそお会いになったのですか？

玉造の小町 (冷やかに)いいえ、わたしは会いません。

小野の小町 わたしの会ったのも唐からの使です。

しばらくの間沈黙。黄泉の使、忙しそうに通るかか。

玉造の小町 ー

小野の小町 ー 黄泉の使！ 黄泉の使！ [#「黄泉の使！ 黄泉の使！」は2行の中央、括弧は2行にわたる波括弧]

黄泉の使 誰です、わたしを呼びとめたのは？

玉造の小町 (小野の小町に)あなたは黄泉の使を御存知ではありませんか？

小野の小町 (玉造の小町に)あなたも知らないとはおっしゃれますまい。(黄泉の使に)このかたは玉造の小町です。あなたはとうに御存知でしょう。

玉造の小町 このかたは小野の小町です。やっぱりあなたのお馴染みでしょう。

使 何、玉造の小町に小野の小町！ あなたがたが、——骨と皮ばかりの女乞食が！

小野の小町 どうせ骨と皮ばかりの女乞食ですよ。

玉造の小町 わたしに抱きついたのを忘れたのですか？

使 まあ、そう腹を立てずに下さい。あんまり変っていたものですから、つい口をこらせたのです。……時にわたしを呼びとめたのは、何か用でもあるのですか？

小野の小町 ありますとも。ありますとも。どうか黄泉へつれて行って下さい。

玉造の小町 わたしも一しょにつれて行って下さい。

使 黄泉へつれて行け？ 冗談を云ってはいけません。またわたしを欺すのでしょ。

玉造の小町 あら、欺しなどするものですか！

小野の小町 ほんとうにどうかつれて行って下さい。

使 あなたがたを！ (首を振りながら)どうもわたしには受け合われません。またひどい目に会うのは嫌ですから、誰かほかのものにお頼みなさい。

小野の小町 どうかわたしを憐れんで下さい。あなたも情は知っているはずですよ。

玉造の小町 そんなことを云わずに、つれて行って下さい。きっとあなたの妻になりますから。

使 駄目です。駄目です。あなたがたにかかり合うと——いや、あなたがたばかりではない、女と云うやつにかかり合うと、どんな目に会うかわかりません。あなたがたは虎よりも強い。内心如夜叉の警通りです。第一あなたがたの涙の前には、誰でも意気地がなくなってしまう。(小野の小町に)あなたの涙などは凄いですよ。

小野の小町 嘘です。嘘です。あなたはわたしの涙などに動かされたことはありません。

使 (耳にもかけずに)第二にあなたがたは肌身さえ任せば、どんなことでも出来ないことはない。(玉造の小町に)あなたはその手を使ったのです。

玉造の小町 卑しいことを云うのはおよしなさい。あなたこそ恋を知らないのです。

使 (やはり無頓着に)第三に、——これが一番恐ろしいのですが、第三に世の中は神代以来、すっかり女に欺されている。女と云えばか弱いもの、優しいものと思ひこんでいる。ひどい目に会わずのはいつも男、会わされるのはいつも女、——そうよりほかに考えない。その癖ほんとうは女のために、始終男が悩まされている。(小野の小町に)三十番神を御覧なさい。わたしばかり悪ものにしていたでしょう。

小野の小町 神仏の悪口はおよしなさい。

使 いや、わたしには神仏よりも、もっとあなたがたが恐ろしいのです。あなたがたは男の心も体も、自由自在に弄ぶことが出来る。その上万一手に余れば、世の中の加勢も借りることが出来

る。このくらい強いものはありますまい。またほんとうにあなたがたは日本国中至るところに、あなたがたの餌食えじきになった男の屍骸しがいをまき散らしています。わたしはまず何よりも先へ、あなたがたの爪にかからないように、用心しなければなりません。

小野の小町（玉造の小町に）まあ、何と云う人聞きの悪い、手前勝手な理窟りくつでしょう。

玉造の小町（小野の小町に）ほんとうに男のわがままには呆れ返ってしまいます。（黄泉よみの使に）女こそ男の餌食えじきです。いいえ、あなたが何と云っても、男の餌食に違いありません。昔も男の餌食でした。今も男の餌食です。将来も男の、……

使（急に晴れ晴れと）将来は男に有望です。女の太政大臣だいじょうだいじん、女の検非違使けびいし、女の閻魔王えんまおう、女の三十番神、——そういうものが出来るとすれば、男は少し助かるでしょう。第一に女は男狩りのほかに、仕栄えしばのある仕事が出来ますから。第二に女の世の中は今の男の世の中ほど、女に甘いはずはありませんから。

小野の小町 あなたはそんなにわたしたちを憎いにくと思っっているのですか？

玉造の小町 お憎みなさい。お憎みなさい。思い切ってお憎みなさい。

使（憂鬱ゆううつに）ところが憎み切れないのです。もし憎み切れるとすれば、もっと仕合せになっているでしょう。（突然また凱歌を挙げるように）しかし今は大丈夫です。あなたがたは昔のあなたがたではない。骨と皮ばかりの女乞食がいかです。あなたがたの爪にはかかりません。

玉造の小町 ええ、もうどこへでも行ってしまえ！

小野の小町 まあ、そんなことを云わずに、……これ、この通り拝みますから。

使 いけません。ではさようなら。（枯芒かれすすきの中に消える）

小野の小町 どうしましょう？

玉造の小町 どうしましょう？

二人ともそこへ泣き伏してしまおう。

（大正十二年二月）

生徒が考えた「テーマ」

<恋愛・性>

- ・求める異性の理想像と現実の可能性
- ・女性化する男子の増加
- ・最近「添い寝男子」が増えてきている
- ・モテの法則「小学生＝足が速い・ドッチが強い、中学＝スポーツができる、面白い、」高校は？
- ・最近の女子の男子に対する扱いのひどさについて
- ・「恋カナ」神奈川県婚活。高校生の真剣恋愛事情→2016 全国進出

<からだ>

- ・方向音痴の人はなぜ道に迷うのか？
- ・メガネとコンタクト両用する人はなぜ統一しないのか
- ・授業中眠くならないようにするには？

<夢>

- ・年齢とともに変わる「夢」
- ・期待を持って入ってきた一年生が絶望し始めるのはいつごろ？
- ・高校生活の理想と現実の差はなぜ生まれるのか

<教育>

- ・勉強以外での頭の使い方
- ・「私、勉強してない」と言っている人は実際何時間勉強しているか
- ・英語教育をなくすためには
- ・「留年」について
- ・廃校になる小学校が増加中
- ・勉強嫌いにならずに勉強する方法
- ・理科を学んで何になるのか？

<通学>

- ・東急バスに言いたいことがたくさんある！！
- ・なぜ、バスや電車で詰めないの？
- ・なぜ元石川は小田急線からの交通が便利でないのか？
- ・バス通学と徒歩通学者では足の太さはやはり違うのか？
- ・田園都市線の中でなぜ、たまプラーザ駅は有名なのか

<物語>

- ・おとぎ話はなぜ成立したか

<流行語>

- ・最近の若者言葉

<メイク・おしゃれ>

- ・女の先生の化粧の濃さと性格は連動するのか
- ・メイクの授業をしよう！
- ・「ぬげ感」「こなれ感」について

<地域>

- ・地名の由来
- ・横浜って本当にすぐに地震が起こるの？
- ・なぜ、元石川は横浜市であるにもかかわらず、山や坂が多いのか。

<哲学>

- ・「普通」とは何か
- ・「青春の象徴」とは何か
- ・人間はなぜ不死身じゃないのか
- ・なぜ人は老いるのか
- ・夜の学校はなぜこわいのか
- ・人はなぜ元石川高校を目指すのか
- ・なぜ星は丸いのか
- ・高校生＝青春というイメージはなぜ生まれるのか？「高校生」というイメージの現実
- ・なぜ人は勉強するのか？

<持ち物>

- ・女子高生のリュックブーム
- ・女子高生のバックの中身は？
- ・ローファーの靴がえらい勢いですり減ることについて
- ・なぜシャープペンシルはすぐに壊れるのか？

<元石川>

- ・なんでバイクダメなの？
- ・元高生 校歌歌えない事件
- ・なぜ女子は「集団じゃないと生きていけない」と言うのか。
- ・なぜ今年急に倍率が増えたのか？

<元石川授業>

- ・なぜ授業で手を上げない？

<元石川施設>

- ・元石川の森（鳥）
- ・ガタガタしない机をどうにか開発できないか
- ・スプリンクラーの水って本当に汚い水なのか
- ・学校の中で一番大切な（きれいにしなきゃいけない、お金をかけなきゃいけない）場所はどこか？
- ・飛び地のクラス「1-9」
- ・芝生スペースはできたけど、なぜ屋上は立ち入り禁止なのか
- ・ソーラーパネルはどういう意味があるのか
- ・元石川の周りの樹木はだれが整備しているのか？
- ・スペイン階段ってなに？
- ・なぜ WiFi 環境が整っていないのか？

<トイレ問題>

- ・なぜ職員用トイレが多いのか？
- ・トイレの音姫は必要か？
- ・なぜトイレは和式が多いのか？
- ・女子は何でトイレで着替えているの？

<元石川先生>

- ・先生、忙しすぎませんか？
- ・斉藤先生はなぜお金持なの？・斉藤先生のチョコのお返しはすごい豪華
- ・なぜ高校の先生は面白い人が少ないのか？
- ・「数Ⅰ日和」「数Ⅱ日和」って何？
- ・この学校の生物の先生はなぜ年中白衣なのか？
- ・諸岡先生はなぜあんなに腰パンなの？
- ・菊地先生はなぜ週3回勤務なの？

<元石川行事>

- ・元石川の芸術鑑賞はなぜいつも微妙に遠い場所で行われるのか？
- ・沖縄修学旅行は民泊2泊もしたのになぜ10万円もかかったのだろうか
- ・体育祭演団マジック後の分かれる比率とその理由
- ・なぜ援団の人数は毎年減っているのか？
- ・応援団はなぜ誕生日別に決められるのか？
- ・マラソン大会はなぜなくなったか？
- ・去年は中止、今年の文化祭はどうなるのか？

<DQN ネーム>

- ・DQN ネームをつけられて一番かわいそうなのは子供だよ

<元石川部活動>

- ・柔道部はなぜないの？
- ・なぜ軽音楽部は校外ライブをしないの？
- ・なぜ軽音部は異常に人気があるのか
- ・なぜ元石川は部活動によって熱の入れ方が違うのか？

<携帯>

- ・電話の声が高くなるのはなぜ
- ・セルカフォンの危険性
- ・高校生の持つスマホの中でリンゴと泥の比率（アップルとアンドロイド）
- ・長文のブログから短文の Twitter に人気が出た理由
- ・授業中の携帯のいじり方に新たな方法が・・・
- ・なぜ家にいるのに PC じゃなく携帯を使うのか。
- ・SNS 上の知り合いに、実際に会うことについて
- ・リズムゲームをやって本当に音痴は直るのか
- ・なぜゲームに課金するの？

<可愛さ>

- ・なんにでも「可愛い」という女子高生の心理
- ・女子高生の『かわいい』の基準
- ・「私ブスだから整形したい」といいながら自撮りした写真を SNS に乗っけてる女子にむかつく
- ・なんで猫は可愛く見えるのにナマコは気持ち悪いって思うの？

<読書>

- ・なんで神奈川は読書週間全国ワースト1なんだろうね？
- ・読書事情（ほんとに電子出版って進んでいるの？）

<エイプリルフール>

- ・エイプリルフールでのウソの付き方

<センス>

- ・生まれつきのセンスの無さを埋めるには

<門限>

- ・みんな門限いつぐらい？

<忘れ物>

- ・年を取ると物忘れはひどくなるけど忘れ物はしなくなるの？

<おこづかい>

- ・みんなお小遣いどれくらいもらっているの？
- ・高校生はなぜ金欠になる？→出費ランキング
- ・高校生のサイフは？どんなの使ってる？中身はどれくらい？

<制服>

- ・なぜ最近制服を変える学校が多いのか
- ・元石の制服のバッチのデザインの由来。
- ・女子のネクタイとリボンの比率
- ・なぜ元石川は制服を変えたのか？
- ・一つの学校に二つの制服があって生徒は違和感を感じないのか？
- ・カーディガンぐらい好きな色きさせてよ！
- ・なぜ女子高生のスカートはあんなにも短いのか？→2012年ラジドキュ全国進出

<お弁当>

- ・早弁ってしていいの？
- ・なぜ朝ごはんを抜くの？
- ・購買の一番人気のメニューは？
- ・購買にはなぜプリンが多いの？
- ・購買は何で手作りのお弁当がないの？
- ・購買にはなぜおにぎりがないのか？

<時事問題>

- ・18歳選挙権・「大人」とは→2016ラジドキュ全国進出
- ・もし徴兵されたら
- ・もし戦争することになったら
- ・「教育勅語」って何？
- ・「Youtuber」の実態は？？
- ・なぜ「神奈川県」に脅迫状が届いたのか？
- ・なぜサザエさんやドラえもんは長い間愛されているのか？

<放送部>

- ・「あめんぼあかいな・・・」などのルーツは？→北原白秋「アイウエオの歌」です。
- ・どうすれば放送部の裏方の大変さがわかってくれるのか？
- ・どうすれば生徒の皆は放送関係の備品を大切に扱ってくれるのか？
- ・一般の生徒に放送部のことをよく知ってもらうにはどうすべきか？